
教育総合センター

だより

NO. 133

平成 26.9.1

大切にしたいこと

尼崎市立名和小学校

校長 石塚 和之



美方高原自然の家に行く途中、国道9号線で村岡に入ってしばらく行くと、神鍋高原へ向かう交差点があります。この交差点を右へ曲がり少し行くとフィッシングセンターに着きます。ここが私の癒しの場であり、無の境地に近づける自然あふれる場所です。アマゴやイワナとしばし遊べる楽しい所なのです。

十数年前のことです。職場の同僚から「溪流釣りに行かないか？」と誘われました。無趣味を誇っていた私のことですから、当然、道具もなければ行ったこともありません。毛針をフワリフワリと振りながら目的の場所にもっていくテンカラ釣りという釣り方をテレビで見たことがある程度でした。しかし、その釣り方はかなり技術が必要なので脈釣りという釣り方をすると聞きました。

結局、最低限の道具(竿、魚籠、クーラー、仕掛けセット)を準備して参加することにしました。初心者は私だけ、仕掛けの竿への取り付け方、餌の付け方、基本的な流し方を教えてもらい、いざ第一投！ところが、餌をつけた針が川面に落ちてきません。頭上をよく見ると、糸が張りだした木の枝に引っかかっています。これでは釣れないのは当たり前、一からやり直しです。こんなスタートをきった私ですが、その日はなんと20匹を超える釣果がありました。「もしかして私には才能があるのかも…」と思ったものです。

それからというもの、年に数回出かけるようになりました。回数を重ねるごとに釣果が上がるかと思うと然にらず、釣れないのです。慣れてくると自分中心になり、餌の流し方を自分で操作していたのです。良く言われることに「見えている魚は釣れない」という言葉がありますが、正にその通りなのです。見えていると、ついつい竿を操作して魚の鼻面に餌をもっていきたいくなるのです。自然な流れに逆らってしまうわけです。表面と川底とでは流れ方が違うことがよくあります。自然の流れに溶け込むと魚もその気になって食いついてくるのです。魚をいかにその気にさせるか…。

教育現場においても、同じことが言えるような気がしています。どんなすばらしい教材でも、どんなにすばらしい指導法であっても、子どもたちがその気にならなければ入っていきません。ついつい自分中心の押しつけになっていないか考える必要があります。社会の大きな流れを捉え、学校は今、何を望まれているのか、地域は？保護者は？子どもたちは？と考えることが大切です。そのためには、情報収集と相手の心を読む。相手の立場になって考える。この心構えと幅広い研修が必要だと思います。私はこれからも、その気にさせる方法を考え続けます。

大学との連携研修・研究から

今年度、教育総合センターは、「研修」と「調査研究」において、関西国際大学と連携しています。

さて、「研修」には、職階や職務、経験年数に応じて必ず受講しなければならない「基本研修」、希望により受講する「専門研修」、喫緊の課題に対し迅速に対応するために実施する「特別臨時研修」があります。

また、今年度の「調査研究」は、教育相談部会、教育の情報化部会、基礎学力向上部会、活用力向上部会、活用力向上部会 のほか、授業のユニバーサルデザイン化研究部会があります。

これらの「研修」と「調査研究」の中から、「大学との連携研修・研究」について紹介します。

1 特別支援教育研修講座（6月26日実施）

関西国際大学の中尾繁樹教授を招聘し、尼崎養護学校にて開催した研修講座です。特別支援教育コーディネータ以外の教員にも多数参加いただきたいという観点から、希望による研修として実施いたしました。幼稚園・小学校・中学校・高等学校全ての校種を対象に行いました。

2 小学校外国語活動指導力UP研修講座

（7月24日，7月25日，8月25日実施）

外国語活動の必修から小学校英語科の教科化をむかえるにあたって、これまでの外国語活動研修講座を3回コースにして、研修の機会を増やしました。「大学との連携」の良さを生かして、開催場所は関西国際大学で実施しました。基礎編・標準編・応用編の3回で、各自のスキルに合わせ、どのコースを受講することも可能で、教員は自身が必要とするコースを選んで受講することができました。

これから教科化される英語に慣れるため、Classroom English を取り入れた体験研修は、実践力獲得に効果的な研修となったと思われます。

3 幼児教育研修講座

（7月24日 7月25日 8月1日実施）

幼児教育・保育実践における指導の充実を図ることをねらいとして、「遊びで育てる力（図工）」、「音感を楽しみ、感性を育てる（音楽）」、「子どものこころと動き（子ども理解）」について、関西国際大学の松岡宏明准教授、島川香織准教授、松本恵美子准教授により、大学の施設をお借りし、音響等の充実した設備の中で研修を行いました。

4 授業のユニバーサルデザイン化研究部会

関西国際大学が研究する内容に、本市学校園が調査協力して、共に成果を得るという研究の連携です。「発達障害等のある子どもを含めて、どの子にもわかる授業づくり」にどう取り組んでいけばいいのか、その1つの試みとして「ユニバーサルデザイン授業」の研究に取り組みます。これは、特別支援教育の視点に立ち、すべての子どもにとって「楽しい・わかる・できる」授業を探っていくものです。幼稚園・小学校・中学校・高等学校から研究員を募集し、6月10日の委嘱式から研究を始めました。このまとめは、関西国際大学で発表し、平成27年2月10日には教育総合センターで研究成果を発表します。

「連携」により、大学側は、地域大学の高度な教育や研究を行う「知の拠点」として人材育成や教育のサービス提供など地域社会に幅広く貢献でき、一方、教育総合センターや教職員は、現在の大学生が学んでいる最新の情報や教育を受けることができるというメリットがあります。

本市教職員の研修への意欲や前向きな姿勢は、大学教授等の講師から高い評価を得ています。これからも皆様からのご意見ご要望をいただきながら、更なる研究や研修の充実を目指して参ります。

（研修担当係長 桑野光枝）

「心を育む教育相談」 ～子ども・保護者・学校が元気になるために～

年々、教育相談の内容が多様化してきている。その中で特に、子どもたちは、「集団の中に入れたい」「友だちとトラブルを起こしてしまう」、保護者は、不登校や発達に特性がある子どもの育て方や子どもの人間関係についての悩みが増加している。

幼稚園や学校においても、自分の感情を抑えることができず衝動的に行動したり、相手の心情や受け止め方を考えることができずコミュニケーションの図り方が不器用で集団の中に適応することが難しい子どもたちが増えてきている。このような子どもたちには、周りの理解と支援が必要であると考え、教育相談では、学校とも連携を深め、保護者や子どもたちの困り感に寄り添い、子どもたちが笑顔で学校や社会に適応できるように支援している。

ある日、発達に特性がある子どもたちの気持ちを理解する出来事があった。不登校の子どもたちが学校に適応できるよう支援する県立の施設に行く際、竹田駅から施設までタクシーで行く予定にしていたが、竹田城への観光客が多いためタクシーが一台も無く、歩いて行くことになった。歩きはじめに「勾配6%助け合いましょう」と坂道の路面の字を見て、ため息が出そうだったが、私は目的地までの道のりを楽しむことにした。道路わきに咲くつつじを見て、小学生の頃につつじの蜜を吸ったことを思い出し、蜜を吸ってみた。カラスノエンドウで笛を作ろうとしたが膨らみが十分でな

いため、あきらめた。その時、山の上からホ ホケキョの音が聞こえ、「ウグイスが上手に鳴けるようになってるな」と浮き浮きする気分になることもあった。畑に牛や鶏の肥料をまいて耕しているにおいもただよってきた。約1時間、子どもの頃を懐かしむことができた。その時、今自分自身が体験したことを振り返ってみると、「発達に特性のある子どもたちは、興味関心をもつことに集中してしまい、本来の目的ややらなければいけないことを後にしてしまうため、学校等の集団の中で不適応を起こしてしまうのかな?」と思った。そして、「その結果、失敗体験が積み重なり、自尊心も低くなり、子ども本人や保護者の悩みがどんどん大きくなっていくのかな?」と考えた。また、タンポポ笛(タンポポの茎で作った笛)を鳴らしながら歩いている時、ふと、「タンポポ笛は一人では楽しくないな。友だちと太い音が出たり、高いかわいい音が出たりすることをケラケラと一緒に笑い合ったりするのが楽しかったな。」と思った時、人とふれあうことの喜びを子どもたちに味わわせることの大切さを感じた。そして、良い経験や成功体験を積み重ねることで、困り感が少なくなることにつながるのではないかと考えた。

教育相談では、誰でも活用しやすい「心の教育相談」を目指し、子どもや保護者が元気に学校園等での生活を送ることができるよう、支援していきます。

(教育相談担当係長 細間 亜季)

教育情報コーナーへどうぞ

教育情報コーナーでは、先生方に利用していただきたい本や資料、雑誌等を整備しています。教育総合センターでの研修や会議の時など、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

(情報コーナー担当・幾田)

東洋館出版の『プロ教師に学ぶ』のシリーズを購入いたしましたので、ご紹介します。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 『～小学校国語科授業の基礎技術』 | 桂 聖編著・佐々木憲徳著 |
| 『～小学校算数科授業の基礎技術』 | 田中博史編著・宇田川浩樹著 |
| 『～小学校理科授業の基礎技術』 | 佐々木昭弘編著・白河市立白河第二小学校著 |
| 『～小学校体育科授業の基礎技術』 | 清水 由編著・岩手体育学習会著 |
| 『～小学校道徳授業の基礎技術』 | 加藤宣行編著・坂本哲彦著 |

他にも良い授業づくりのための本がありますので、ぜひご活用してください。

- | | |
|---|------------------------|
| 『板書～きれいで読みやすい字を書くコツ～ひらがな、カタカナ、漢字の書き方から板書計画の立て方まで』 | 樋口咲子・青山由紀著 / ナツメ社 |
| 『学校で用いる文具・道具の使い方～早わかり』 | 鈴石弘之他著 / 小学館 |
| 『確かな学力が身に付く学習のしつけ』 | 鹿児島市立田上小学校著 / 小学館 |
| 『小学生のスタディスキル～「学び方」がわかれば、学校はもっと楽しくなる』 | 安藤壽子 / 編著・家田三枝子他著 図書文化 |
| 『授業づくり上達法～誰も語らなかつた基礎技術』 | 大西忠治著 / 民衆社 |
| 『子どもが勉強したくなる授業の条件』 | 長瀬荘一著 / 明治図書 |
| 『規律ある授業のつくり方』 | 富山一美著 / 明治図書 |
| 『教師のための授業改善～指導力が確実に身に付く』 | 谷 友雄著 / ぎょうせい |
| 『子どもに向きあう授業づくり～授業の設計, 展開から評価まで』 | 生田孝至著 / 図書文化 |

視聴覚教材・教具の活用を推進します

16ミリフィルムやビデオ(VHS)等で、童話・アニメ・自然科学や人権・平和・いじめなどの作品を所蔵しています。また、16ミリ映写機の講習会も7月30日(水)、10月22日(水)と適宜行っています。希望される方は教育総合センターの上玉利までご連絡ください。

本年度は、合唱指導のCDが視聴覚ライブラリーに加わりました。皆さんに活用して頂ければと、平成25年度で退職された浜小学校の玉輝先生から、お預かりしたものです。

①「教師のための実践合唱講座」(1987年 ビクター音楽産業株式会社・音楽之友者)

CD(作品集)と解説者、楽譜

市川都志春・橋本祥治・川崎祥悦・川口晃・金光威和・矢田部宏作・平吉毅州・渡部節保・柳沢浩・岩河三郎・小林秀雄・湯山昭・高田三郎・南安雄・中田喜直・中村透・林光・三善晃・若松正司 クラス合唱曲(1～7)・演奏会コンクール用合唱曲集(女声編、混声編?NHK全国学校コンクール優秀校演奏会(小学校編・中学校編))

実践指導体系資料編、「日本の楽器」「オーケストラの楽器」・ビデオ(VHS)
ご活用下さい。